

今号の読みどころ

議員団レポート … 議員活動レポート、幹事長の主張 浅野さとし勝利には「総力・底力」を発揮した活動が不可欠 **P2~4**

P5~6

議員団一同新年挨拶 皆さまが安心・安全に暮らせる社会をつくるため全力で取り組みます

浅野さとし衆議院議員・国政レポート … 「コロナに打ち勝ち、2期目に向け全身全霊でラストスパート！」

浅野さとし衆議院議員・国政レポート

明けましておめでとうございます。2020年は日立グループ連合加盟組織で働く全ての皆さんが新型コロナ対策に奔走した1年だったと思います。皆さんの中には、物量が不足していたマスクやフェイスガード、人工呼吸器などの生産にご協力頂いた事業所や、医療現場で懸命に対応された方が多くいらっしゃいます。あらためて、一人ひとりのご尽力に心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年の国会では、電機産業に関連の深い「デジタル化」をテーマに様々な取組みが進展しました。例えば、国家戦略特区法の改正（スーパーシティ法案）、個人情報保護法の改正（ビッグデータ解析に用いる「仮名化情報」の創設）、GIGAスクール構想（全国の公立小中学生に一人一台のタブレット配布）の前倒し、オンライン診療の暫定運用（恒久化を要望中）などです。これ以外にも、政府が準備を進めている「デジタル庁」の創設など、デジタル化の流れは今後ますます加速する中、日立グループ連合が加盟する電機連合の積極的な政策発信に期待が集まっています。

また菅総理は、所信表明演説の中で2050年までに二酸化炭素の排出を全体としてゼロにする「カーボン・ニュートラル」を宣言しました。実現のためには、再エネ・火力・原子力の活用と低炭素化技術の開発、電気自動車や蓄電池等の高度な利活用、電力網の高度化・強靱化などが必要です。これまで以上に研究開発投資を長期にわたって継続する必要があり、産業界には技術面・経営面で非常に高いレベルの取組みが今後要求されていきます。



オンラインで省庁と打ち合わせを行う

コロナに打ち勝ち、2期目に向け全身全霊でラストスパート！

日立グループ議員団会長
衆議院議員 浅野さとし



経済産業委員会で
「デジタル化」について発言



このように、2020年は新型コロナの影響を受けて、働き方や医療、教育、娯楽など多くの分野にとって「変化のはじまり」となった年と言えます。今後は、これらの変化を継続的かつ長期にわたって支える人財の育成と、目的達成に向けた不断の技術開発が不可欠であり、産業界には人と技術へ継続的に投資する「決意」が求められています。日立グループ連合の各加盟組織においてもこうした課題認識を労使で共有頂き、コロナに打ち勝つ強い日本をともにつくっていきましょう。

最後に、私が2017年の総選挙で初当選させて頂いてから3年が経過しました。この間、日立グループ連合の皆さんより多くのご意見・ご要望を頂きながら質疑に臨んできました。質疑を重ねるほど新しい課題が見つかり、電機産業の発展に向けてやるべきこと、やりたいことが沢山あります。今の気持ちを2期目につなげるため、これからの数カ月は全身全霊のラストスパートをかけて参ります。

県政だより

「原子力政策研究会」を設立



齋藤 英彰
茨城県議会

(日立労組／大みか支部)

県民に必要な 正しい情報提供に努める



再稼働の議論が行われる
東海第2発電所

茨城県および東海村は、「原子の火」を日本で最初に灯した地であり、原子力行政を長い間牽引してきた歴史的背景があります。

また昨今、東日本大震災以降の原子力を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の「原子力行政」「原子力政策」について、各議員が情報を共有した上でこのテーマを積極的に議論しなければなりません。

昨年6月の茨城県議会第2回定例会では、「日本原子力発電東海第2原発の再稼働の賛否を問う県民投票条例案」が上程され、連合審査会を開き、直接請求代表者や首長、専門家などから意見聴取を行いました。

原子力は「発電」だけではなく、最先端技術が集積された裾野

の広い科学技術分野であり、「科学技術イノベーション立県」を標榜する茨城県は、「原子力」を「科学技術」と捉え発展させていかなければなりません。

今後は、月1回程度の「講演会」を開催し情報を共有、その後の議論により理解を深め、また、市町村議員との連携を積極的に行い、各市町村議会単位の勉強会設置への働きかけや共同勉強会の開催なども企画していきます。

今回設立された、超党派による「原子力政策研究会」の中でしっかりと議論を重ね、県民に必要な正しい情報提供に努めて参ります。

はだの丹沢クライミングパークを開園

市政だより



八尋 伸二
秦野市議会

(日立労組／神奈川県西支部)

県と連携し クライミングの 聖地へ



クライマーや家族で賑わう

秦野市は北に丹沢山塊、南に渋沢丘陵を望む県内唯一の盆地であり、登山やハイキングなどが楽しめる自然豊かな街です。また、新東名高速道路の秦野IC（仮称）までの開通が2023年と目前に迫り、さらには秦野SAスマートIC（仮称）の設置も予定され、都心からのアクセスがより便利になることが期待されます。

一方、首都圏周辺で人口減少とともに地域の活性化が課題となっている本市に対し、私は、地域資源を生かしターゲットを絞ったシティプロモーションの必要性を提言してまいりました。

そのような中、東京2020オリンピック・パラリンピックで「スポーツクライミング競技」が新たに正式種目となったことを契機に、本市は県と連携して施設を整備する方針を打ち出し、「はだの丹沢クライミングパーク」として3種目の競技が可能な県内唯一・全国有数の拠点となりました。昨年6月の開園以降、クライマーや多くの家族連れが訪れ、ボルダリングを楽しんでいます。

私は、前任期に引続き、議員有志を募り政策研究会を立ち上げました。勉強会や市民との意見交換会を通じて、「より良い秦野づくり」をめざして取り組んでまいります。



県と連携して
施設を整備



表と裏の2種類の壁が楽しめる

マイカーに依存しないまちづくり

実証実験が行われた電動カート



堀江 紀和
日立市議会
(日立パワー労組)

日立市には、昭和40年代から50年代にかけて山側丘陵地を造成した12の山側住宅団地があり、高齢化率は市内平均を大きく上回っている状況にあります。今後のさらなる高齢化進展を前に、団地内外への移動手段確保が課題となっています。

その移動手段確保に向け、高齢化率が高い団地の1つを対象に、交通弱者対策として時速20km未満で走行する電動カート「グリーンスローモビリティ」と乗合タクシーを組み合わせた実証実験が行われました。

この実験は、団地内にある商店などの生活利便施設を拠点に電動カート2台が4ルートを無料で巡回するものです。さらに電動カートからの乗り換えが可能である乗合タクシー1台（1利用100円）がバス路線のない医療機関などへの移動手段として往復運行するな

ど、約1カ月にわたって検証が行われました。

今後は悪天候時の乗車環境対策や重量物を購入した際の荷台確保など実証実験で得られた課題や実績を踏まえ、公共交通施策として持続可能な運用の検討を行っていきます。

民主クラブとしては、公共交通を利用した交通弱者対策について課題を整理し、高齢者がマイカーに依存しないまちづくりに向け、積極的な提案活動に努めていきます。

村政だより

太陽光発電施設の設置に係る独自の条例を制定



越智 辰哉
東海村議会
(日立労組／日立国分支部)

遊休農地等への設置が進む太陽光発電施設



議会の決議が行政を後押し

近年、地球温暖化防止対策の観点から太陽光発電施設の普及が進む中、その設置を巡り近隣住民とのトラブルに発展する事例等が全国各地で報告されています。昨年、東海村においても約16haにおよぶ広大な森林伐採をともなう大規模な事業計画が表面化し、貴重な緑が減少することを危惧する声や住環境への影響など不安視する声が続いていました。しかしながら、国の法整備や県のガイドラインが追い付かず、その対応に苦慮していました。

そこで、令和元年9月議会において、本村の地域特性に応じた独自のルールづくりに早急に取り組むべく決議を行政に対して全会一致で可決。この決議を受け、行政側は速やかに村独自の条例案の作成に着手し、令和2年3月議会で関連条例を制定しました。これは、茨城県内の自治体では14例目となります。

同条例の制定により、村として太陽光発電施設の抑制区域を設定したり、事業者との協定締結が可能になったり、行政がより主体的に対応することができるようになり、議会の行動が行政を後押ししたこととなります。

今後も、行政と議会とが丸となり、諸課題解決に向けた取り組みが推進できるような環境を整えていきたいと考えます。

行政のデジタル化加速

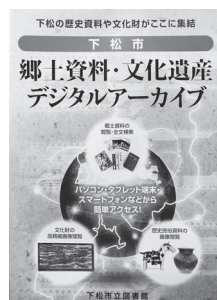
市政だより

デジタルアーカイブで まちの魅力を未来に手渡す

下松市立図書館『下松市郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブ』を検索してください。「くだまつ」の名前の由来ともいえる古墳や遺跡、海岸沿いが広大な塩田であった時代、久原房之助の大工業都市の思い、日立製作所笠戸工場誕生など、ものづくりのまち下松の基礎となった歴史が学べます。

また、令和2年10月から「下松市電子図書館」も構築されました。インターネット環境があれば、いつでも、どこでも利用でき、音声読み上げ機能・文字拡大など読書のバリアフリー化にもなります。

下松での図書館のデジタル化は、自分のまちを知ること、子どもたちの学習に活用することなど、まちの魅力を未来に手渡す取組



下松の歴史が
学べる
デジタル
アーカイブ

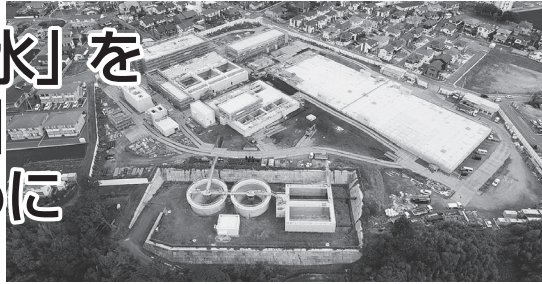


磯部 孝義
下松市議会
(日立労組／笠戸支部)

みにつながっています。

Withコロナの社会で行政のデジタル化も加速（業務改革、市民サービス向上など）しそうです。デジタル化に不安のある方や対面での受付が必要な方の手続き・相談業務の対応を充実させることも忘れてはいけなとを考えます。

「よりおいしい水」を 「より安定して」 お届けするために



建設が進められる
新上坪浄水場



深谷 寿一
ひたちなか市議会
(ルネサスグループ連合／那珂地区支部)

ひたちなか市にある上坪浄水場は、那珂川から取水した水を浄水し、市内の水道水の約70%を供給する水道事業の基幹施設です。しかし、建設から約50年が経過し、老朽化した耐震性の低い施設であることから、東日本大震災では大きな被害を受け、長期間の断水を余儀なくされました。このため、東日本大震災規模の地震に耐えられる「強靱な水道施設」をめざし、新上坪浄水場の建設を進めています。

新しい浄水場においては、水源である那珂川の水が台風やゲリラ豪雨などで濁った場合でも、安定して処理できるよう浄水処理方

式を変更し、夏から秋にかけて発生する魚臭や藻のにおいを活性炭により除去する施設を新たに設け、よりおいしい水道水を供給できます。また、東日本大震災の経験を踏まえ、非常用発電設備を設置し、断水時の応急給水活動の拠点としての機能を設けるなど、災害に強い浄水場を建設しています。令和3年度中には、新浄水場からの水道水を市民の皆様へ供給できるように工事が進んでいます。

日新クラブは、水道事業が市民や事業者に対し、将来にわたり安全で安心な水を安定的に供給し続けられるように努めていきます。



日立グループ議員団幹事長 伊藤 健也
日立市議会（日立GLS労組多賀支部）

幹事長の
主張！

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃から日立グループ議員団の各種活動へのご理解と、議員に対するご支援に感謝申し上げます。

昨年は野党合流や首相交代など、政局に大きな動きがありました。特に国民民主党と立憲民主党との合流については、紆余曲折を経ながら国民民主党の大多数が立憲民主党に合流しました。しかし、これまでの国民民主党の綱領を引継ぎながら、政策提案型の独自路線を歩む党として昨年9月に衆・参国会議員の15名で「新国民民主党」が立ち上がりました。

この「新国民民主党」には、電機連合所属の浅野衆議院議員や矢田わか子

浅野さとし勝利には「総力・底力」を 発揮した活動が不可欠

参議院議員も参加し、「国民が主役の改革中道をめざす」とした理念の下、新党としての活動がスタートしました。

日立グループ議員団としても積極的に支援しながら、働く者の立場・国民に寄り添った活動への展開を期待するものです。

新型コロナ拡大収束と経済対策

新型コロナ感染症は一昨年末から世界各国で広まると同時に、日本国内でも猛威をふるい、国内経済にも大きな影を落としています。国は様々な経済対策を展開しながら経済の底上げを図っていますが、感染拡大防止策と経済再生策は表裏一体の状況にあり、その効果は限定的なものになりかねない実態にあります。

国には新型コロナ感染拡大の収束に

向けた対応と、地方自治体の側に立った経済対策が待たれます。

浅野さとしの勝利に向けて

本年10月に衆議院議員任期が満了を迎える中で、各陣営とも総選挙に向けた準備が鋭意進められています。浅野衆議院議員も「茨城5区小選挙区」で勝利すべく、連日選挙区内での活動を展開しています。

選挙戦勝利には茨城5区内支援者に留まらず、より多くの方々に協力を頂きながら「総力・底力」を発揮した活動の展開が不可欠です。構成組織人員の減少や組織構成の変化など、現在の厳しい現状を認識して頂き、組織の皆様への支援を「浅野さとし」に賜いますようお願いいたします。

LINE

LINE公式アカウント「浅野さとし応援団」
で情報発信中！

最新の活動状況、イベント情報などを発信しています。お友達登録をお願いします！

登録方法

LINEアプリの「友達追加」で右のQRコードを読み込みます。



「追加」をタップしてお友達登録完了です。

日立グループ 議員団28名より 新年のご挨拶

会長
浅野 さとし
衆議院（日立労組日研分会）

皆さまが安心・安全に暮らせる社会を つくるため全力で取り組みます

謹んで初春のお慶びを申し上げます。議員団28名が一致団結して、皆さんの生活向上に全力を尽くします。
本年もご支援とご指導をよろしくお願い致します。

謹んで初春の
お慶びを申し上げます

西部地協



西部地協幹事
澤田 秀夫
安来市議会（日立金属労組安来支部）



下松市議会
磯部 孝義
（日立労組立戸支部）



安来市議会
原瀬 清正
（日立金属労組安来支部）

中部地協



中部地協幹事
市原 誠二
尾張旭市議会（日立労組旭支部）



沼津市議会
深田 昇
（明電舎労組沼津支部）

東京・東海地協



会計監査
八尋 伸二
奉野市議会（日立労組神奈川西支部）



胎内市議会
渡辺 宏行
（産機労組中条支部）



東京・東海地協幹事
坂本 勝司
横浜市会（日立労組ソフト支部）



栃木市議会
千葉 正弘
（日立GLS労組栃木支部）



準会員
さいたま市議会
三神 尊志
（日立労組本社支部）

茨城地協（勝田）



特別幹事
二川 英俊
茨城県議会（日立労組水戸支部）



ひたちなか市議会
三瓶 武
（日立労組水戸支部）



ひたちなか市議会
北原 祐二
（日立AMS労組佐和支部）



茨城地協勝田ブロック幹事
武藤 猛
ひたちなか市議会（日立インテック労組支部）



会計監査
川村 成一
かみなり市議会（日立建機労組津部支部）



ひたちなか市議会
深谷 寿一
（日立サテライト連那珂地支部）

茨城地協（日立）



日立市議会
青木 俊一
（日立労組日立国分支部）



日立市議会
豊田 茂
（日立金属労組日立支部）



北茨城市議会
鈴木弥太郎
（日立労組茨城地協）



茨城県議会
高安 博明
（日立労組日立国分支部）



日立市議会
助川 悟
（日立労組日立国分支部）



東海村議会
越智 辰哉
（日立労組日立国分支部）



茨城県議会
齋藤 英彰
（日立労組大みか支部）



日立市議会
粕谷 圭
（昭和電工リアルズ労組山崎支部）



日立市議会
堀江 紀和
（日立パワー労組）



幹事長 茨城地協日立ブロック幹事
伊藤 健也
日立市議会（日立GLS労組豊後支部）



日立市議会
白石 敦
（H-I-C-S労組）



日立市議会
堀江 紀和
（日立パワー労組）